



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

介護の「みらい」話
よもやま話

前回の MYFuna1月号では、船橋市介護支援専門員協議会の杉田会長と2時間に及ぶ意見交換をさせて頂いたことをご報告しましたが、今回はその対談内容をご紹介します。



〈介護屋 宮崎〉
代表取締役社長
宮崎 直樹

ケアマネジャーについて

宮崎：地域包括ケアを考える前に杉田会長はケアマネジャーという職業に対してどのようなお考えがありますか。

杉田：ケアマネジャーは一言でいうと「親戚以上家族未満」だと思っています。少し遠い親戚よりは、ケアマネジャーの方が、近いこ

船橋市介護支援専門員協議会が考える地域包括ケア



地域包括ケアシステム構築に向けて

弱めてしまう可能性もあると思います。そのような中で、地域包括ケアシステムに於いての協議会の役割についてどのようなにお考えですか。

ともあります。現実的に親戚よりケアマネジャーが主体的に動く事は多々あると思います。

時折、家族以上に関わりを持たれるケアマネジャーもいますが、これは「家族の主体性」を奪う可能性もあることをケアマネジャーも考えるべきだとも思っています。やはり、介護とは「家族が主体」で行うものなので、ケアマネジャーは家族以上にならない事を考えなければいけません。

宮崎：その通りだと私も考えます。介護保険は介護のすべてをカバーできる保険制度では無くて、介護の一助としてみなさんを支える保険なので、私たちが主体的になる、そこで家族の持っている力を

杉田：ケアマネジャーがどんどん地域に出て行って活躍できるようになるには、ケアマネジャーの一人一人がしっかりと地域包括ケアに向けて意識できるようにするのが、大事な一歩だと考えています。そのために協議会では、多くの研修会を開催したり、ケアマネジャーの後方支援を行っています。

居宅介護支援事業所の多くは、ケアマネジャーの登録が1名や2名といった規模が小さい所が多いので、ひとりで悩まないように、横の繋がりや顔の見える関係作りの為に、大きな研修会やの小規模な研修会を開催し毎月船橋市内のどこかしらで、研修会を開催しています。

そこで、ケアマネジャーの資質向上と共に、地域包括支援センターとの繋ぎを行ったりしています。

さらに、船橋市には船橋在宅医療ひまわりネットワークという、団体があります。そこで、地域包括ケアシステムの核となる在宅医療の充実と医療・介護の連携を推進するために、多職種間での顔の見える連携づくり、人材の育成、在宅医療提供時における支援体制の検討等の活動を会長が筆頭に行っています。そこで私も副会長として参画させて頂いています。

宮崎：杉田さん、最後に一言お願いします。市民の方が、質の高いケアマネジャーを見極めるにはどのようにすればいいですか。

杉田：答えは簡単です。ゆっくり話を聞いてくれて、ゆっくり説明してくれる方を選ばれるのがいいと思います。

宮崎：本当ですね(笑)



船橋市介護支援専門員協議会
会長 杉田 勝(すぎたまさる)
船橋在宅医療
ひまわりネットワーク 副代表

ケアマネジャー大募集

創業以来退職者 **ゼロ** !!

徹底した業務システム化

これからの未来を共に

- ・残業ゼロ
- ・未経験者も安心教育
- ・日曜日完全休み
- ・夏休みで年間休日117日のプライベート充実

まだまだあります！
詳しくは [介護屋みらい](#) [検索](#)

居宅介護支援事業所 **介護屋みらい**

住 船橋市薬円台 4-16-4-202
☎ 047-404-2660